

園地への果樹カメムシ類の飛来に注意

～ 飛来数が多い場合は直ちに薬剤を散布してください ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

前年秋期に県内15地点の越冬トラップに捕獲されたクサギカメムシ成虫数は11.2頭/地点（平年7.3頭/地点）でやや多く、捕獲地点率は86.7%（平年75.9%）でやや高かった（図-1）。

本年5月の県内11地点の防除適期決定ほにおけるチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は調査地点によって異なったが、おおむね平年並～多く、大館市、横手市、湯沢市の一部の調査地点では5月下旬に急増した（図-2～4）。

6月4日に仙台管区气象台が発表した1か月予報では、向こう1か月の気温は高いと予報されている。

以上のことから、今後、果樹カメムシ類（クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ）の活動が活発になり、園地への飛来数が増加する可能性があるとして予想される。

2. 防除対策

園地への果樹カメムシ類の飛来は地域による差が大きいため、飛来状況をよく観察する。特に山間部や山林に隣接する園地では注意が必要である。成虫（図-5、6）が次々に飛来し、被害が懸念される場合には、各樹種ごとに表-1～5の薬剤で早急に防除を実施する。

3. 資料

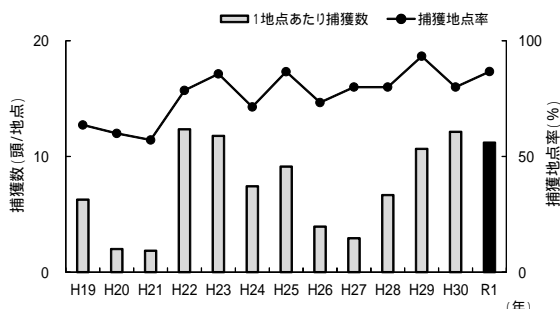


図-1 越冬トラップにおけるクサギカメムシ捕獲数の推移

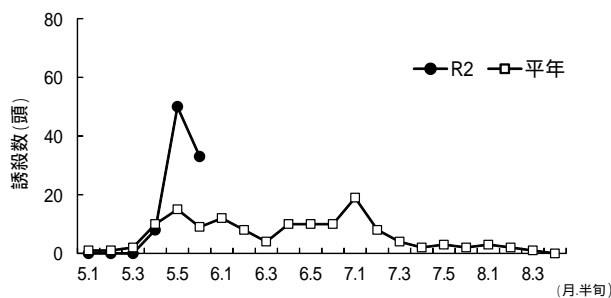


図-2 防除適期決定ほ(大館市中山)におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

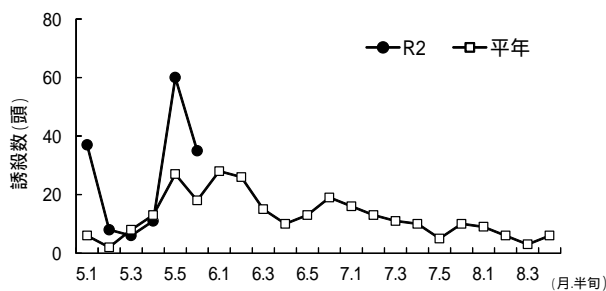


図-3 防除適期決定ほ(横手市増田)におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

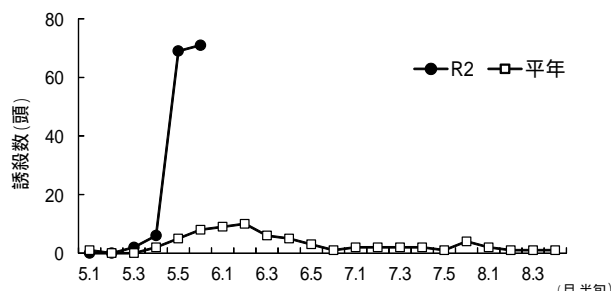


図-4 防除適期決定ほ(湯沢市東福寺)におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況



図 - 5 クサギカメムシ成虫



図 - 6 チャバネアオカメムシ成虫

表 - 1 りんごのカメムシ類の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
a	スプラサイド水和剤	1,500倍	収 - 30日	2回以内	2回以内
c	MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	収 - 14日	2回以内	2回以内
c	ロディー水和剤	1,000倍	収 - 前日	2回以内	ア
g	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 7日	2回以内	2回以内
g	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	ダントツ水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	3回以内

分類 a:有機リン剤 c:合成ピレスロイド剤 g:ネオニコチノイド剤

ア:フェンプロパトリン(7回以内(噴射は5回以内、散布は2回以内)) イ:ジノテフラン(3回以内)

スプラサイド水和剤は、落花後1か月は使用しない(サビ果)。

表 - 2 なしのカメムシ類の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
a	スミチオン水和剤40	800倍	有袋栽培 収 - 14日 無袋栽培 収 - 21日	6回以内	ア
a	スプラサイド水和剤	1,500倍	有袋栽培 収 - 7日 無袋栽培 収 - 21日	3回以内 2回以内	3回以内 2回以内
g	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	3回以内
g	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	ダントツ水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	3回以内
g	バリアード顆粒水和剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	3回以内
g	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000倍	収 - 3日	2回以内	2回以内
c	アグロスリン水和剤	1,000倍	収 - 前日	3回以内	3回以内
c	テルスター水和剤	1,000倍	収 - 前日	2回以内	2回以内
a・c	パーマチオン水和剤	1,000倍	収 - 30日	5回以内	ア、ウ
c	サイハロン水和剤	2,000倍	収 - 7日	3回以内	3回以内
c	マブリック水和剤20	2,000倍	収 - 30日	2回以内	2回以内
c	MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	収 - 14日	2回以内	2回以内

分類 a:有機リン剤 c:合成ピレスロイド剤 g:ネオニコチノイド剤

ア:MEP(6回以内) イ:ジノテフラン(3回以内) ウ:フェンバレート(5回以内)

スプラサイド水和剤は6月中旬以降に使用する。

分類cの合成ピレスロイド剤は6月下旬以降に飛来が著しい場合に使用する。

表 - 3 もものカメムシ類の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
a	スミチオン水和剤40	1,000倍	収 - 3日	6回以内	ア
c	テルスター水和剤	1,000倍	収 - 14日	2回以内	2回以内
c	アグロスリン水和剤	2,000倍	収 - 前日	5回以内	5回以内
g	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	イ
g	ダントツ水溶剤	2,000倍	収 - 7日	3回以内	3回以内

分類 a:有機リン剤 c:合成ピレスロイド剤 g:ネオニコチノイド剤

ア:MEP(6回以内(樹幹処理は1回以内)) イ:ジノテフラン(3回以内)

スミチオン水和剤40は薬害(葉の黒褐変、落葉)を発生させるおそれがあるので7月以降に使用する。

表 - 4 おうとうのカメムシ類の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
a	スプラサイド水和剤	1,500倍	収 - 7日	3回以内	3回以内
g	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	2回以内	ア
g	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	2回以内	ア
g	ダントツ水溶剤	2,000倍	収 - 前日	2回以内	2回以内

分類 a:有機リン剤 g:ネオニコチノイド剤

ア:ジノテフラン(2回以内)

表 - 5 うめのカメムシ類の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
g	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	ア
g	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収 - 前日	3回以内	ア

分類 g:ネオニコチノイド剤

ア:ジノテフラン(3回以内)

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	018-881-3660
秋田県果樹試験場	0182-25-4224
かづの果樹センター	0186-25-3231
天王分場班	018-878-2251
掲載HP	https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/